

ふりがな 氏名	ほりこし あつこ 堀越 敦子	職名	講師
学位	修士（社会福祉学）	現在の研究分野	ソーシャルワーク、障害児者支援、児童福祉
所属学会	日本社会福祉士会、日本社会福祉学会、日本女子大学社会福祉学会		
主要担当授業科目	障害児保育、相談援助、保育相談支援、発達と障害、保育実習Ⅰ・Ⅲ		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況			
学会及び社会における 主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・浦安市障害者介護給付費等の支給に関する審査会委員（平成 25～26 年度） ・「障害者虐待の防止及び養護者・被虐待障害者の支援の在り方に関する研究」事例集編集委員（平成 27（2015）年度 厚生労働科学研究費補助金事業） 		
主な研究業績	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『U-CAN の社会福祉士 専門科目 速習レッスン』自由国民社、平成 21 年（共著） ・『はじめての相談援助実習』ミネルヴァ書房、平成 25 年（共著） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「援助差異が生じていく過程とその背景に関する研究—グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて」日本女子大学大学院人間社会研究科 修士論文、平成 17 年（単著） ・「中核病院が退院時支援を行う上での介護保険制度の問題点—退院時支援に関するアンケートの自由回答記述から—」『神奈川県立保健福祉大学誌』4(1)、平成 19 年（共著） ・「社会福祉援助技術現場実習における実習内容と実習教育の検討—実習内容と成果に係るアンケート調査の結果から—」『帝京平成大学紀要』20-2 号、平成 21 年（単著） ・「社会福祉援助技術演習の方法に関する—考察—ある語学学校における語学習得プログラム応用の可能性—」『帝京平成大学紀要』21-2 号、平成 22 年（単著） ・「ソーシャルワーク実習と実習教育に関する—考察—」『淑徳大学研究紀要』第 46 号、平成 24 年（単著） ・「ソーシャルワーカーが自らの援助基盤を構築するプロセス—他の援助者との援助差の認識を手がかりとして—」『社会福祉士』第 19 号、平成 24 年（単著） ・「子どもたちの言語化されない心の理解—元里子・障害児のきょうだいの声をもとに—」『淑徳大学研究紀要』第 47 号、平成 25 年（単著） <p>[学会発表・公演・講演・研修指導 等]</p> <p>〈学会発表〉</p> <p>ポスター発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中核病院の退院時支援における居宅介護支援事業所との連携に関する課題—退院時支援に関するアンケートの自由回答記述から—」日本リハビリテーション連携科学学会、平成 18 年（共同報告） ・「中核病院が退院時支援を行う上での介護保険制度の問題点—退院時支援に関するアンケートの自由回答記述から—」日本リハビリテーション連携科学学会、平成 18 年（共同報告） 		

	<p>〈研修講義〉</p> <ul style="list-style-type: none">・千葉県特例子会社連絡会『障害者虐待防止法の概要と千葉県の虐待防止の現状』（平成 25 年）・千葉労働局障害者雇用連絡会『障害者虐待防止法の概要と千葉県の虐待防止の現状』（平成 25 年）・新人広域専門指導員研修『障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例』（平成 25～28 年）・千葉県女性サポートセンター職員研修『障害者虐待防止法の概要について』（平成 26 年）・千葉県社会福祉行政職員新任者研修『障害者の権利擁護』（平成 27 年）・千葉県障害者虐待防止・権利擁護研修『障害者虐待防止法の概要と法に基づく対応の流れ』（平成 27～29 年）・千葉県グループホーム支援ワーカー研修『障害者虐待防止法について』（平成 27 年）
--	---